

2022年度～2024年度 臨床評価指標

1. 退院後4週間以内の予定外再入院割合

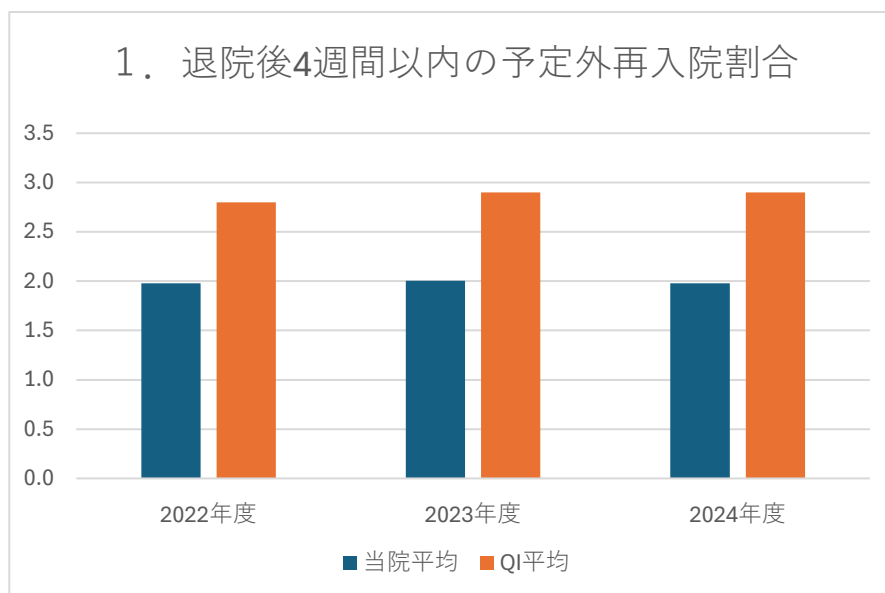
	当院平均	QI平均
2022年度	2.0	2.8
2023年度	2.0	2.9
2024年度	2.0	2.9

分子：前回退院から4週間以内に計画外で再入院した患者数

分母：退院患者数

解釈：より低い値が望ましい

備考：大きな変動はありません



2. 退院後7日以内の予定外再入院割合

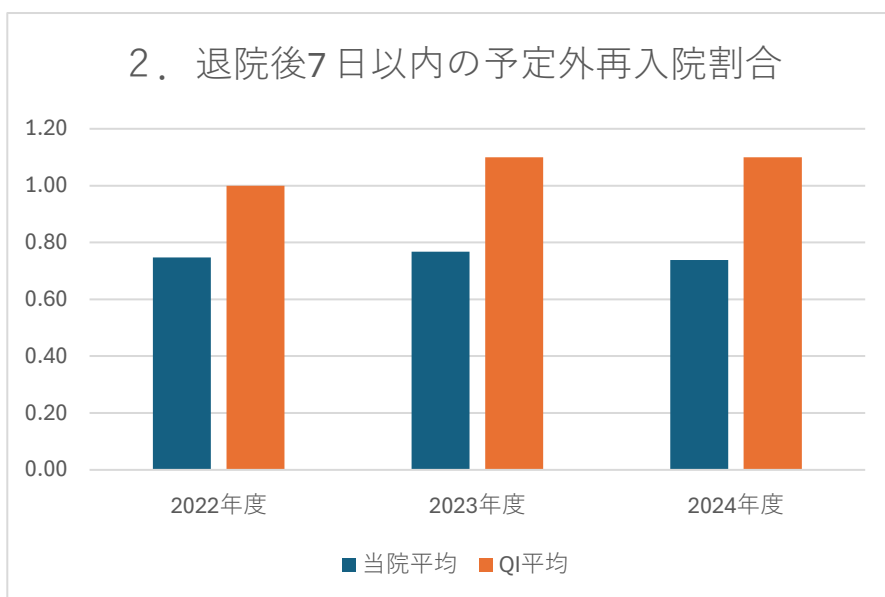
	当院平均	QI平均
2022年度	0.75	1
2023年度	0.77	1.1
2024年度	0.74	1.1

分子：前回退院から7日以内に計画外で再入院した患者数

分母：退院患者数

解釈：低い値が望ましい

備考：大きな変動はありません



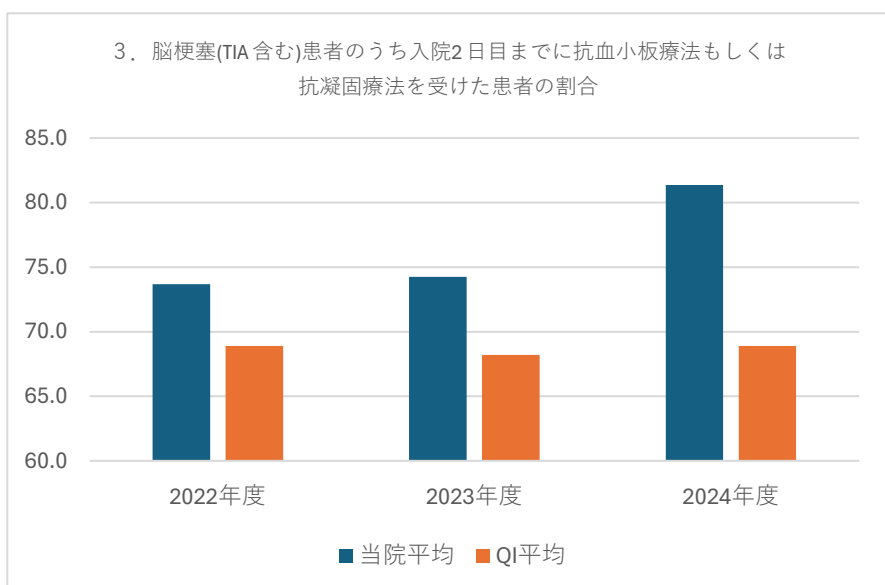
3. 脳梗塞(TIA含む)患者のうち入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法を受けた患者の割合

	当院平均	QI平均
2022年度	73.7	68.9
2023年度	74.2	68.2
2024年度	81.4	68.9

分子：入院2日目までに抗血小板療法を受けた患者数

分母：非心原性脳梗塞かTIAと診断された18歳以上の入院患者数

解釈：高い値が望ましい



4. 脳梗塞(TIA 含む)患者における抗血小板薬処方割合

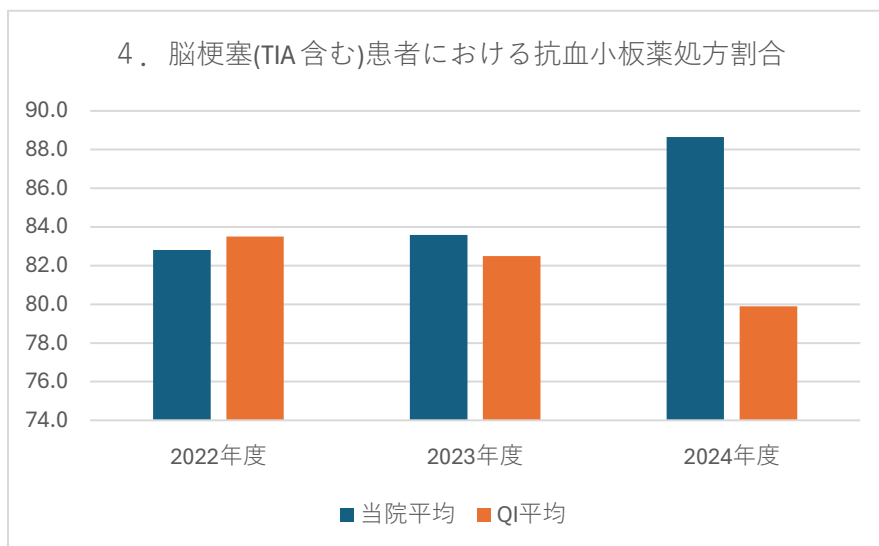
	当院平均	QI平均
2022年度	82.8	83.5
2023年度	83.6	82.5
2024年度	88.7	79.9

分子：入院中に抗血小板療法を受けた患者数

分母：非心原性脳梗塞かTIA と診断された18 歳以上の入院患者数

解釈：高い値が望ましい

備考：徐々に改善している



5. 脳梗塞患者におけるスタチン処方割合

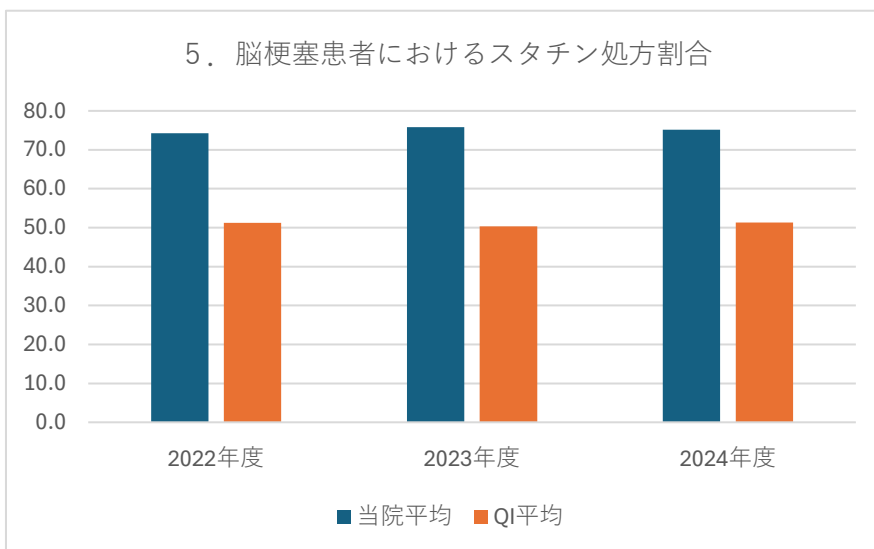
	当院平均	QI平均
2022年度	74.2	51.2
2023年度	75.9	50.3
2024年度	75.2	51.3

分子：分母のうち、スタチンが処方された患者数

分母：脳梗塞で入院した患者数

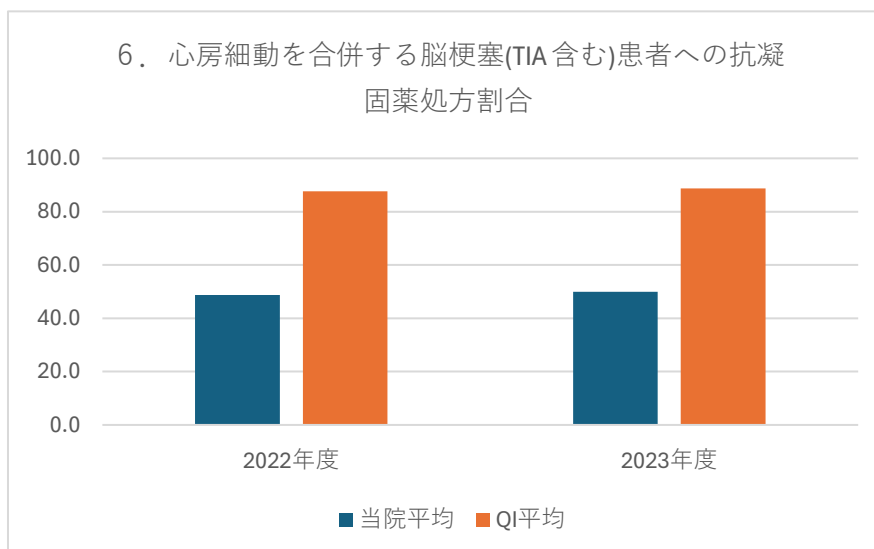
解釈：高い値が望ましい

備考：全国平均に比べ高い水準で推移している



6. 心房細動を合併する脳梗塞(TIA 含む)患者への抗凝固薬処方割合

	当院平均	QI平均
2022年度	48.7	87.6
2023年度	50	88.7



7. 脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者割合

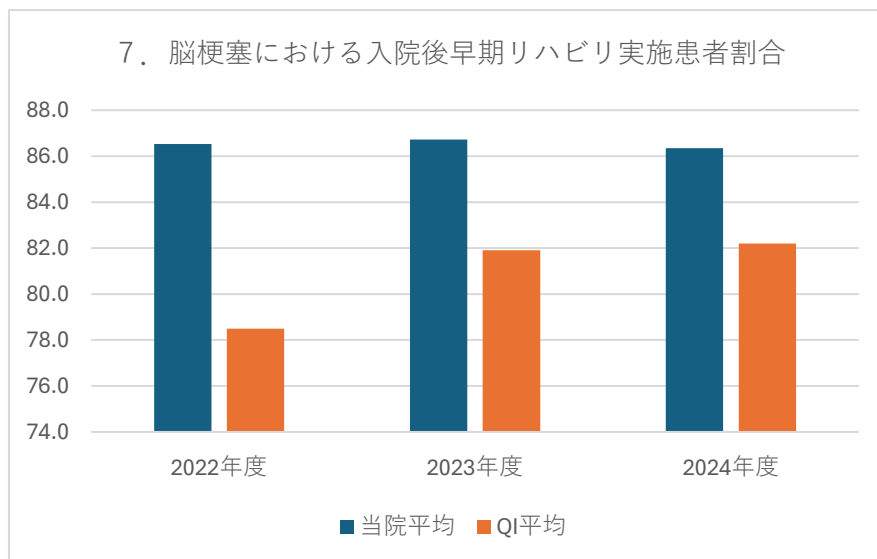
	当院平均	QI平均
2022年度	86.5	78.5
2023年度	86.7	81.9
2024年度	86.3	82.2

分母：入院後3日以内に脳血管

リハビリが行われた症例数

分母：18歳以上の脳梗塞で入院した患者数

解釈：高い値が望ましい



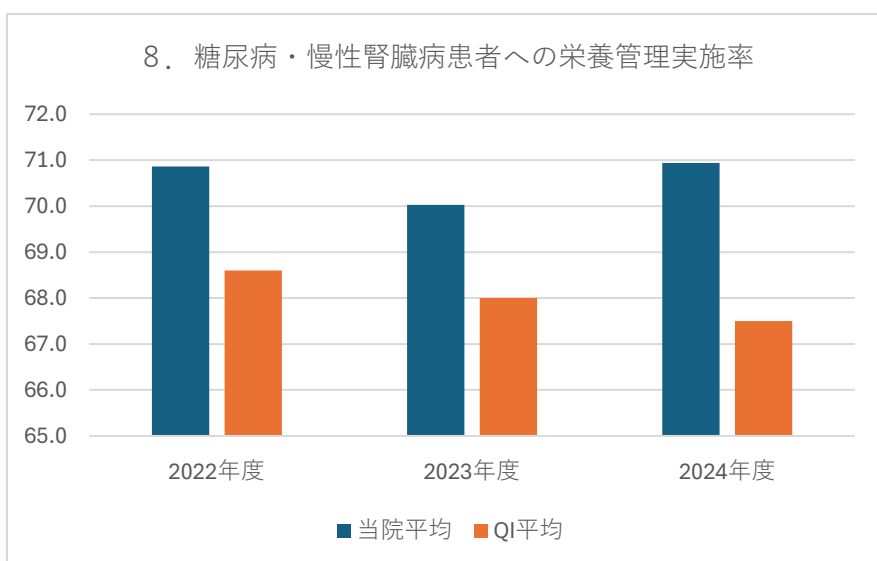
8. 糖尿病・慢性腎臓病患者への栄養管理実施率

	当院平均	QI平均
2022年度	70.9	68.6
2023年度	70.0	68.0
2024年度	70.9	67.5

分子：特別食加算の算定回数

分母：18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数

解釈：高い値が望ましい



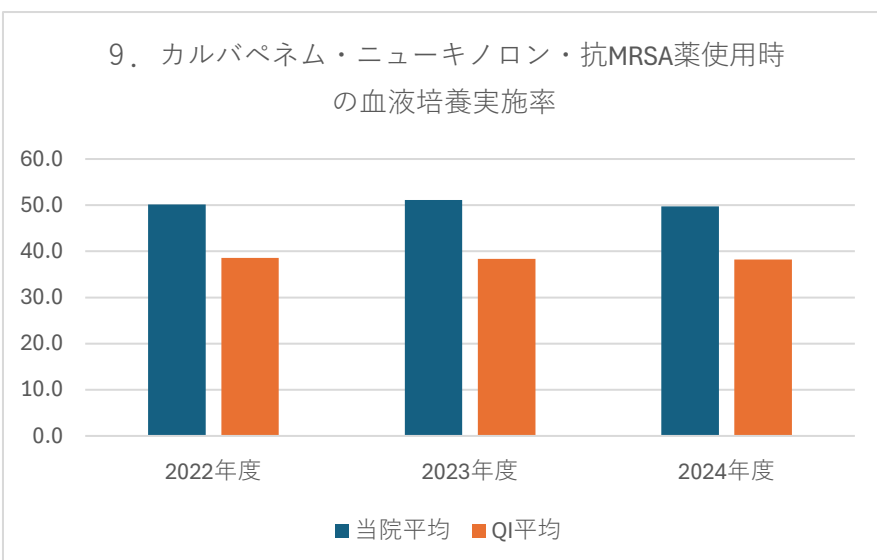
9. カルバペネム・ニューキノロン・抗MRSA薬使用時の血液培養実施率

	当院平均	QI平均
2022年度	50.1	38.6
2023年度	51.1	38.4
2024年度	49.7	38.2

分子：投与開始初日に血液培養検査を実施した数

分母：カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、（バンコマイシン内服は除く）投与を開始した入院患者数

解釈：高い値が望ましい



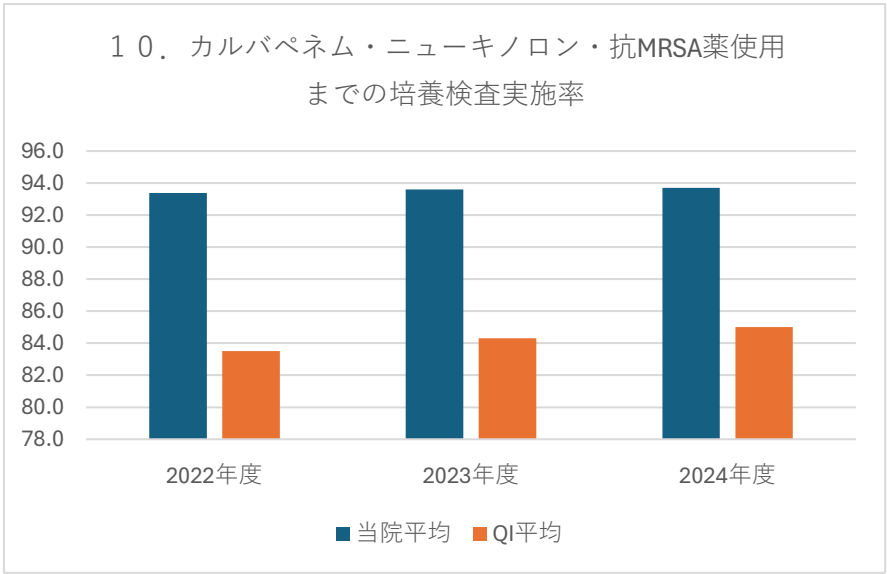
10. カルバペネム・ニューキノロン・抗MRSA薬使用までの培養検査実施率

	当院平均	QI平均
2022年度	93.4	83.5
2023年度	93.6	84.3
2024年度	93.7	85.0

分子：投与開始初日までに培養検査を実施した数

分母：カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、（バンコマイシン内服は除く）投与を開始した入院患者数

解釈：高い値が望ましい



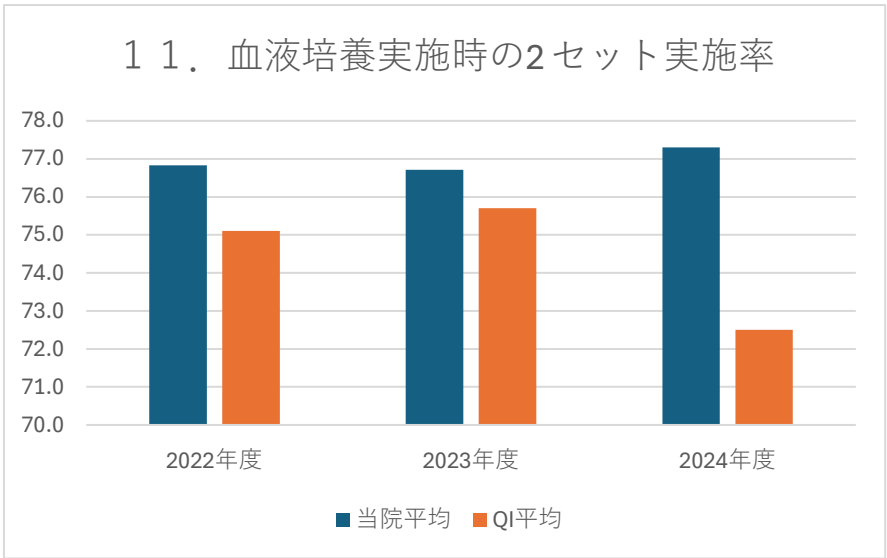
11. 血液培養実施時の2セット実施率

	当院平均	QI平均
2022年度	76.8	75.1
2023年度	76.7	75.7
2024年度	77.3	72.5

分子：血液培養オーダーが1日に2件以上ある日数（人日）

分母：血液培養オーダー日数（人日）

解釈：高い値が望ましい



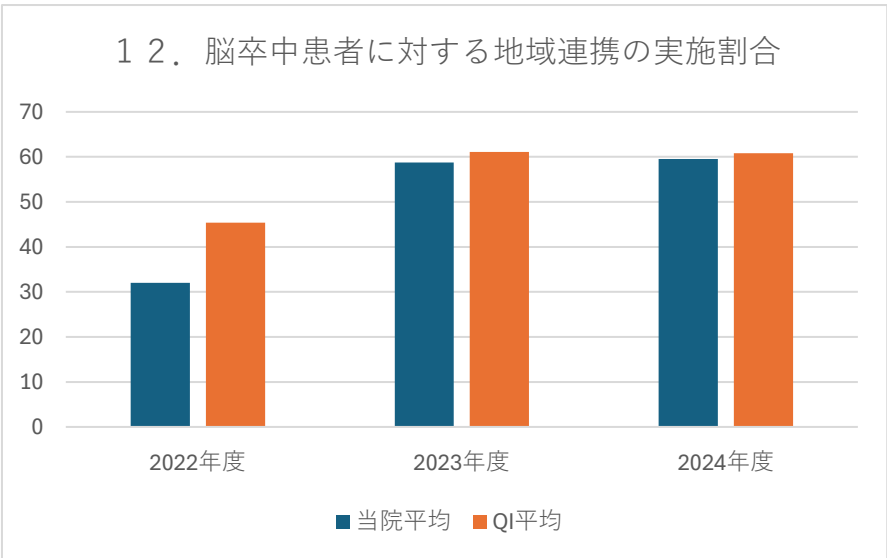
12. 脳卒中患者に対する地域連携の実施割合

	当院平均	QI平均
2022年度	32.00654	45.4
2023年度	58.78059	61.1
2024年度	59.54433	60.8

分子：地域連携に関する算定のある患者数

分母：脳卒中で入院した患者数

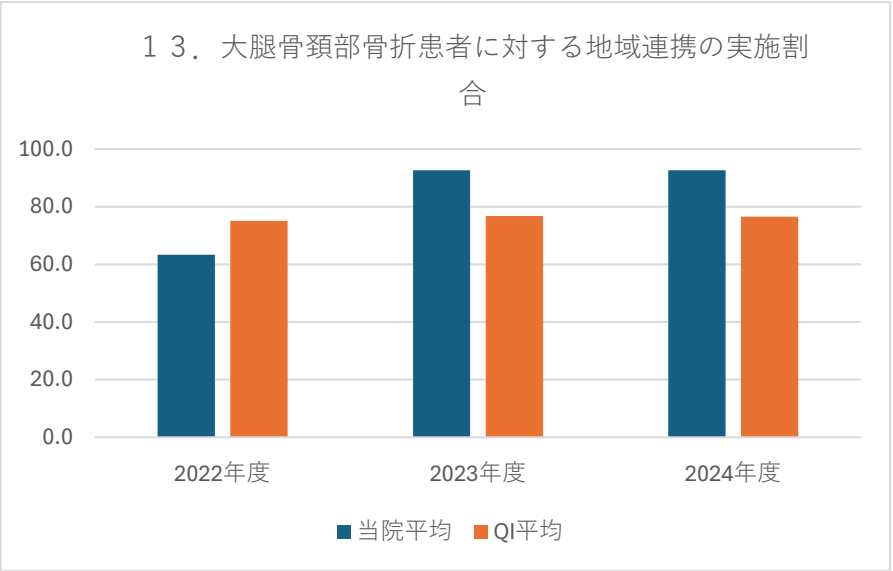
解釈：高い値が望ましい



1 3. 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携の実施割合

	当院平均	QI平均
2022年度	63.3	75.1
2023年度	92.6	76.8
2024年度	92.7	76.6

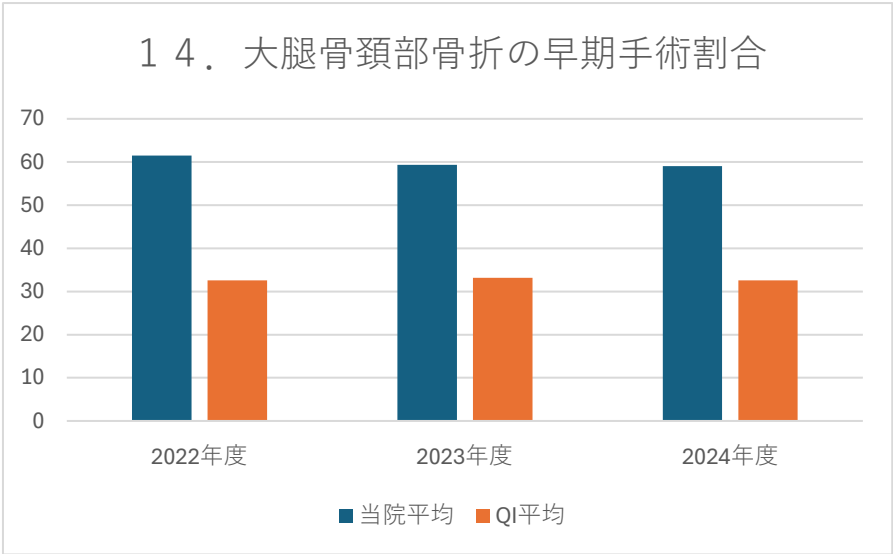
分子： 地域連携に関する算定のある患者数
分母： 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数
解釈： 高い値が望ましい



1 4. 大腿骨頸部骨折の早期手術割合

	当院平均	QI平均
2022年度	61.50342	32.6
2023年度	59.375	33.2
2024年度	59.01639	32.6

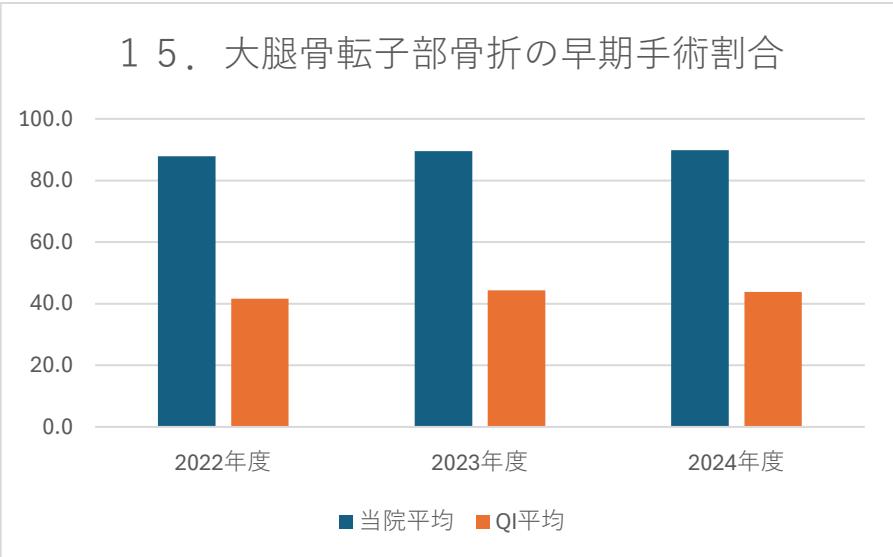
分子：入院2 日以内に手術を受けた患者数
分母： 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数
解釈： 高い値が望ましい



1 5. 大腿骨転子部骨折の早期手術割合

	当院平均	QI平均
2022年度	87.9	41.6
2023年度	89.5	44.3
2024年度	89.8	43.8

分子：入院2 日以内に手術を受けた患者数
分母： 大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数
解釈： 高い値が望ましい

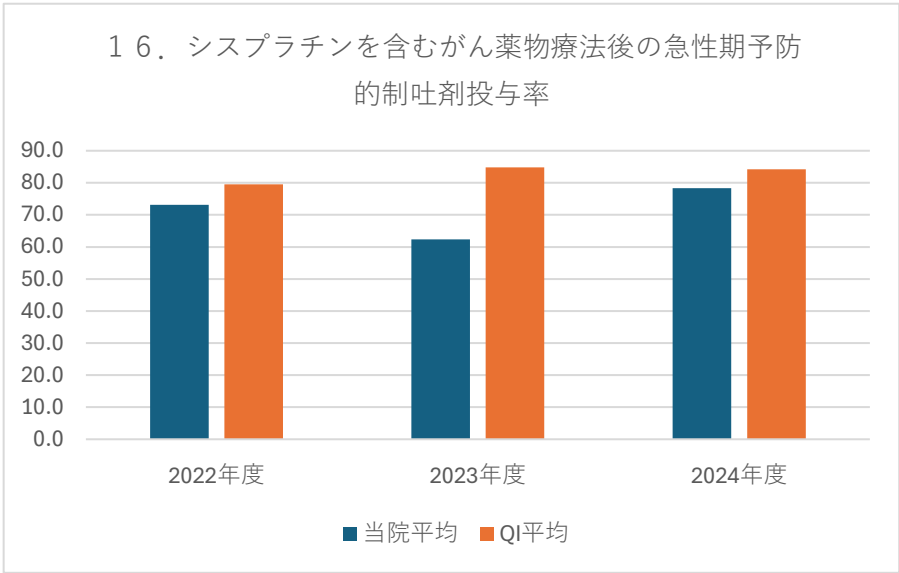


16. シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤投与率

	当院平均	QI平均
2022年度	73.1	79.5
2023年度	62.4	84.8
2024年度	78.3	84.2

分子：分母の実施日の前日または当日に、5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3 剤すべてを併用した数
分母：入院にてシスプラチンを含む化学療法を受けた18 歳以上の患者の実施日数

解釈：高い値が望ましい



17. 抗MRSA 薬投与に対する薬物血中濃度測定割合

	当院平均	QI平均
2022年度	95.2	89.6
2023年度	95.3	89.8
2024年度	94.9	89.8

分子：分母のうち、薬物血中濃度を測定された症例数
分母：TDM を行うべき抗MRSA 薬を投与された症例数
解釈：高い値が望ましい

